



石造如来及両脇侍立像



指定区分	国指定重要文化財(彫刻)
読みかた	せきぞうによらいおよびりょうきょうじりゅうぞう
所在地	倉敷市中央 大原美術館
指定年月日	昭和53年6月6日
解説	<p>現高2.51m、中国の北魏(ほくぎ)時代の作品と推定される。大きな光背形の前面に中央に仏立像、左右に脇侍菩薩立像を彫り出し、伝来する中国の石仏として大作である。制作当初は4mを越える大きさであったといわれ、光背部分の一部を欠いた現在でも約2.5mの高さがある。当時屈指の巨像だったばかりでなく、高雅な造像感情が隅々まで行き渡って制作されており、芸術的にも極めて優れた名作として高く評価されている。さらに、この像がもつ正光様式は、日本の7世紀代の飛鳥時代様式の源流をなすものとしても非常に注目されている。</p>
アクセス方法	JR倉敷駅から徒歩約15分
公開状況	大原美術館工芸東洋館石仏室にて展示 [問い合わせ先]大原美術館 086-422-0005
設備	<p>駐車場は倉敷美観地区周辺の有料駐車場を利用</p> <p>トイレ  障害者用トイレ </p>
備考	大原美術館では「一光三尊仏像」の名で公開されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(彫刻)
ぶんかざいめい (文化財名)	石造如来及両脇侍立像
よみかた	せきぞうによらいおよびりょうきょうじりゅうぞう
しょざいち (所在地)	倉敷市中央 大原美術館
していつひ (指定した日)	昭和53年6月6日
せつめい	およそ1500年から1600年前に中国でつくられたといわれている仏様(ほとけさま)の石像(せきぞう)です。高さはおよそ2メートル50センチあります。もともとは4メートル以上あったと考えられています。芸術的(げいじゅつてき)にもすぐれた作品だと高(たか)く評価(ひょうか)されています。